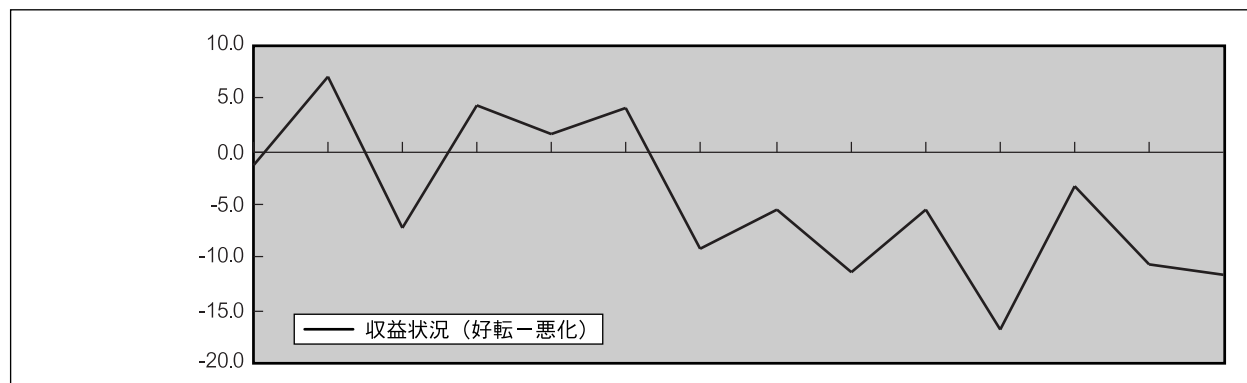


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17年		18年				19年				20年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
好転	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	14.0	13.0
横ばい	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	61.3	62.4
悪化	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	24.7	24.6
D.I.	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-10.7	-11.6



好転理由

(%) 見込 予測

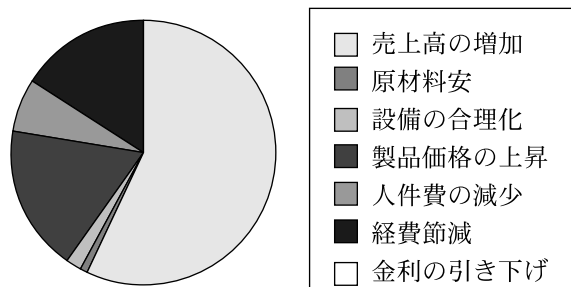
期別 種別	17年		18年				19年				20年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の増加	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	58.9	53.6
原材料安	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	0.0	1.4
設備の合理化	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	4.3
製品価格の上昇	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	17.8	17.3
人件費の減少	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	5.5	4.3
経費節減	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	16.4	17.4
金利の引き下げ	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	1.4	1.4

悪化理由

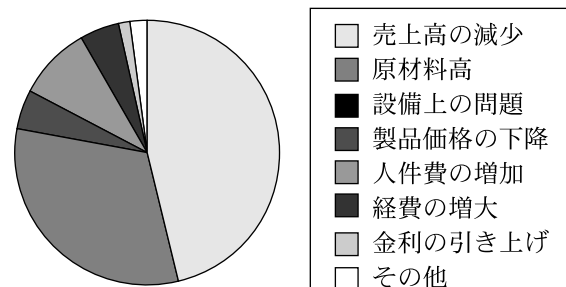
(%) 見込 予測

期別 種別	17年		18年				19年				20年			
	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月
売上高の減少	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	41.6	40.6
原材料高	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	34.2	35.2
設備上の問題	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.9	2.4
製品価格の下降	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	6.2	6.7
経費の増大	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	8.7	10.3
人件費の増加	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	5.0	3.0
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	1.9	1.8
その他	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	0.6	0.0

好転理由



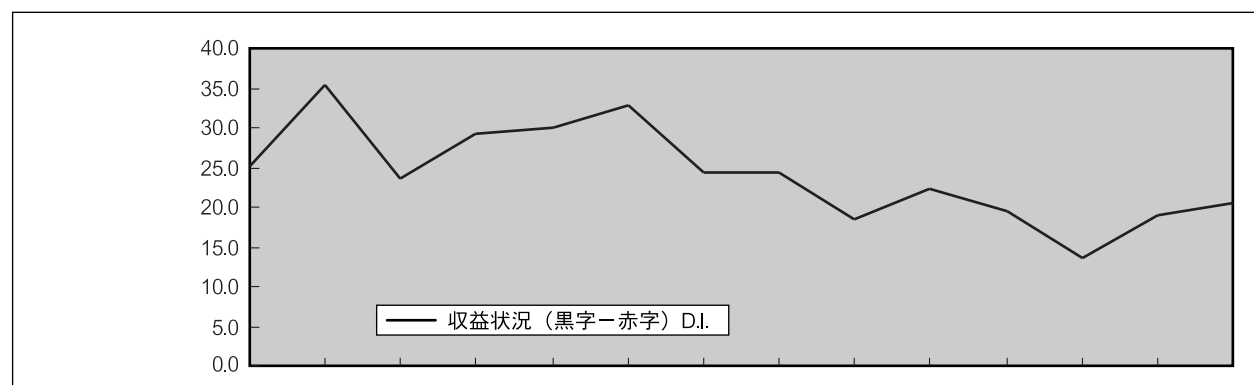
悪化理由



- (1) 4～6月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲3.3と前期比13.6ポイント改善した。先行きについては、20年7～9月期D.I.は悪化を予想している。10～12月期もやや悪化予想となっており、低下傾向の予想となっている。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、4～6月期実績は、①売上高の増加、②製品価格の上昇③経費削減の順になった。前期と同じ順位で、売上高の増加がトップとなっている。先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由となっており、「製品価格の上昇」が次に高い理由となっている。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、4～6月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となった。原材料高とするポイントが大幅に増加し、30%以上となっている。売上高減少を理由とする、ポイントが減少してきている。先行きについても、原材料高を理由とする企業が増加傾向である。7～9月期は34.2%、10～12月期は35.2%と30%を越すポイントとなった。好転理由として、売上高の増加が半数を占める反面、悪化理由として売上高減少とするポイントも高い。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	D.I. (%)													
	17年		18年				19年				20年			
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.5	33.7
収支トントン	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	49.9	53.2
償却後赤字	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	15.6	13.2
D.I.	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	18.9	20.5



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、19年1～3月期より低下してきている。20年4～6月期も13.5と前期比5.9ポイント悪化となった。先行きについては改善していく、見込となっている。

黒字とするポイントが低下しており、収支トントンとの回答ポイントが増加している。赤字とのポイントは、今期21.2と高いポイントとなった。